

世界に広がるシェアのかたち

世界にはどんなシェアのかたちがあるの
だろう？というわけで、世界各地で体験
した様々なシェアについて伺いました。



中華人民共和国 北京市

新聞記事も…！？

中国の地下鉄では、隣の席の人が読んで
いる新聞をあからさまに覗き見して
いる光景をよく見かける。日本におい
て、隣に座っている見知らぬ人が新聞
や雑誌をあからさまに覗き見してきた
ら、きっと覗かれた方は怒るだろう。
しかし、中国では覗かれた方は怒らな
い。中国は資本主義経済を採用したと
いっても元々は社会主義国家。それが
故に、新聞の覗き見に関しても、覗く
方、覗かれる方ともに「別にいいじゃ
ないか」というスタンスが見て取れる。

しのはら まさつぐ
篠原 正嗣さん…在学時、北京に留学。
北京で生活する中、その生活の節々に、
以前は社会主義国家であった中国にお
ける社会主義思想の名残を感じる。



インド共和国 ゴア州

宿と一緒に思い出も

学生時代、一人旅を知って私の生活は
一変、ローカルな人々の生活に触れ合
うことができる貧乏一人旅に私はすっ
かりはまってしまった。そして、いろ
いろなバックグラウンドを持っている
シェアメイトと語り合うのも旅の大き
な楽しみだった。出身地や学歴、職業
や年齢もバラバラ、唯一の共通点は全
員が同じ安宿の一室をシェアしている
というだけ。特にインドでは、短期間
の旅のシェアメイトでもお互いに刺激
を与え合い、その時々には凄くポジテ
ィブな出会いがあったと思う。

イトウ クミコさん…日本在学時、一
人旅を始める。毎日、自分の思うがま
まに旅をしていたところ、インドのゲ
ストハウスでの様々な人々との出会い
をきっかけに、自分の将来について見つめなお
す。現在、北米フロリダ州にて看護師として働く。



大韓民国 ソウル特別市

寝床まで？

韓国人は“ウリ（私達の）”という
言葉を本当によく使う。“ウリマル（私
達の言葉）”。“ウリナラ（私達の国）”。
“ウリハッキョ（私達の学校）” などな
ど、“私”ではなく、“私達”。ご飯を
食べる時も、オカズは大皿でシェアし
て食べるのが普通。ビビンバだって、
アイスだって一個大きいのを皆で食
べるのが一般的。銭湯に行けば、誰でも
使ってOKなシェア歯磨き粉が無造作
に置いてある。また、韓国人と一緒に
住んでいる時、その子が友達をつれて
来て、何故か私の布団で一緒に寝るこ
とになった。布団をシェアするのもごく
普通のことらしい。

ますかわ めぐみ
増川 恵さん…文化を始め、言語の文
法が日本に近いと言われていた韓国に
興味を持ち、学校卒業後、2年間韓国
ソウルへ留学する。現在は日本で会社
員として働くが、年に数回韓国を訪れる。



東アジア編

日本国 鹿児島県

島民同士が収穫物をシェア

上甕（かみこしき）島では、食べ物の
シェアが日常的に行われています。漁
師たちは水揚げされたばかりの新鮮な
魚を、農家たちは収穫したばかりの旬
な米や野菜を。生活に足りていないも
のを互いに補い合っているのです。ち
なみに、島にある家の玄関に鍵はか
かかっていない。鍵穴はあっても、僕は
一度も鍵をみたことがない。なぜ鍵を
かけないか？それは、近所の人たちが
入れなくなるからだ。夕方、家に帰っ
て冷蔵庫を開ける。すると、いつのま
にか美味しそうな魚が届けられている
のです。そう、あとは焼いて食べるだ
け。それが、上甕島の食のシェアにま
つわるストーリーです。

ヤマシタ ケンタさん…鹿児島県上甕島
で生まれ育つ。学校を卒業後、京都市
内の民間企業勤務を経て、自身の地元
甕島の“おいしい風景”を作るために
鹿児島にUターン。現在、離島における地域産業
のあり方について日々模索中。



日本国 沖縄県

オトリーで回し飲み

宮古島には“オトリー”って文化があっ
て、一つのグラスで、皆でお酒を回し
飲みする。昔の沖縄では、重税で今よ
りも庶民は貧しかったから、貴重な泡
盛をみんなで平等に飲むために、“オ
トリー”をしていたと聞いた。一つの
オトリーグラスをシェアしていた。も
ちろん、今でも“オトリー”をしてい
るし、小さい時は、これが当たり前で、
世界中のお酒の飲み方は“オトリー”
だと思っていた。

すなかわ なおこ
砂川 菜穂子さん…沖縄県宮古島で生ま
れ育つ。現在、宮古島にて宮古民謡を
唄い、三線を弾くことを仕事としてい
る。フィジーにて宮古民謡を唄い、現
地の人々と宮古島の文化を共有した経験を持つ。

